

同時開催!

平和祈念展 in 高松

主催：平和祈念展示資料館（総務省委託）
戦争が終わってからも苦しくつらい体験をした、
シベリア抑留者や満州からの引揚者についての資料を紹介します。



シベリア抑留者が飢えに耐えかね、袖の部分をパンと交換した防寒外套

特別展示



シベリア強制抑留
いろはかるた

漫画家・斎藤邦雄が自身の抑留体験を描いたいろはかるた



映画「二十四の瞳」ポスター
昭和29年（1954）
©1954 松竹株式会社



弁当の掛け紙
昭和13年（1938）頃

戦中・戦後という厳しい時代を生き抜いた人々のくらしや想いを、香川県の実物資料や写真を中心に紹介します。

戦中・戦後のくらし 香川展

主催：昭和館 協賛：香川県遺族連合会および日本遺族会第4ブロック／厚生労働省委託事業

入場無料

平成30年

11/10(土) → 11/23(金) 祝

会場

市民交流プラザIKODE 瓦町
大会議室1・2、ギャラリー
(香川県高松市常盤町1-3-1 瓦町 FLAG 8階)

時間

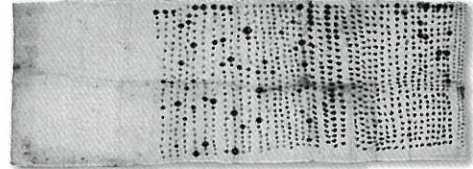
10:00~19:00

※10日、10:00からオープニング
セレモニーを行います。

後援：香川県、香川県教育委員会、高松市、高松市教育委員会、四国新聞社、読売新聞高松総局、朝日新聞高松総局、毎日新聞高松支局、産経新聞社高松支局、NHK高松放送局、RNC西日本放送、RSK山陽放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、CMSケーブルメディア四国、FM香川、FM815

戦中・戦後のくらし 香川展

昭和館（東京・九段下）では、戦中・戦後のくらしにかかわる労苦を後世に伝えるため、常設展示を行っています。この度、香川県の資料を中心に、厳しい時代を生き抜いた人々が綴った手記や、その姿を記録した写真、当時の実物資料を通じ、その時代に生きた人々の様々な想いや、苦難の多かつたくらしを伝えます。



千人針
昭和17年(1942)



瓦礫に残された金属回収された品々 香川県高松市
昭和23年(1948)
©CARMEN JOHNSON COLLECTION,
GENERAL DOUGLAS MACARTHUR FOUNDATION



苗羽小学校田浦分校の先生と子どもたち 香川県小豆島町田浦
昭和20年代 池田正輔撮影

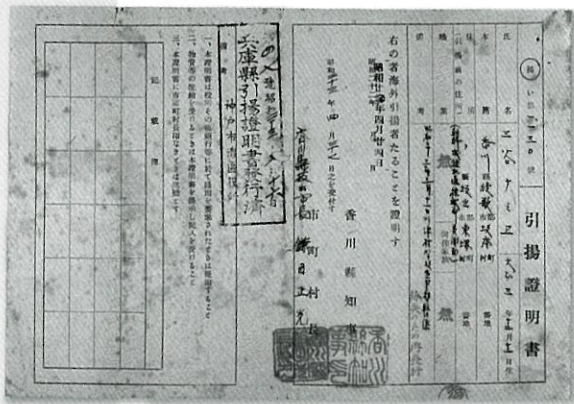
平和祈念展示資料館（東京・西新宿）は、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦を物語る様々な資料を展示している施設です。本展では、当資料館の代表的な実物資料とともに、香川県にゆかりのある貴重な資料を展示します。また、漫画家・斎藤邦雄が自身の抑留体験をいろはかるたに描いた作品を紹介します。



シベリア抑留中に香川県内に住む家族へ宛てた存廃用郵便葉書



満州から引き揚げる途中、母親が娘に着せるため、亡くなった赤ん坊のおむつで作ったワンピース



香川県出身者に発行された引揚証明書

平和祈念展示資料館 in 高松

昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575 <http://www.showakan.go.jp>

平和祈念展示資料館

〒163-0233 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階
TEL.03-5323-8709 FAX.03-5323-8714 <http://www.heiwakinen.jp>

市民交流プラザ IKODE 瓦町 大会議室1・2、ギャラリー
(香川県高松市常磐町1-3-1 瓦町 FLAG 8階)

- ことでん琴平線・長尾線・志度線「瓦町駅」下車
- ことでんバス「瓦町」下車
- ことでん琴平線・長尾線「高松築港駅」乗車、「瓦町駅」下車

お問い合わせ

会場
アクセス

